

## 第2期長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針について

平成26年(2014)9月、わが国の人口減少・少子高齢化への対策及び東京圏への過度な人口集中・経済格差の是正を目的として、「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、その実行に向けた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が策定された。

「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の策定から5年が経過し、東京圏とその他地域の経済格差は拡大こそしていないが、是正には至っていない。また、人口減少・少子高齢化、東京圏への人口集中は依然として継続している状況である。

これに対し、課題解決に向けたさらなる取組みの推進を目指し、令和元年(2019)12月「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。

本町においても、国の動向にあわせ、「長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、「第1期総合戦略」という。)を策定し、人口減少・少子高齢化及び地域経済活性化に取り組んできた。その結果として、町外からの企業誘致や地域公共交通の整備など、地域経済活性化に向けて一定の成果が上がっているが、人口動向は厳しい状況が継続している。

こうしたことから、本町も継続して人口減少・少子高齢化及び地域経済活性化に取り組むこととして、「第2期長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、「第2期総合戦略」という。)を策定するものとする。

第2期総合戦略は、次の4つの方針のもとで策定する。

### 方針1 施策の体系 ～4つの基本目標を継承～

本町の第1期総合戦略においては、次の4つを基本目標に沿って施策を位置付けた。

**基本目標① 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする**  
～農業振興・産業振興による活発で活力ある長南づくり～

**基本目標② 地方への新しいひとの流れをつくる**  
～自然環境と資源を活用した魅力あふれる長南づくり～

**基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**  
～子育て世代に選ばれ、次世代教育を担う長南づくり～

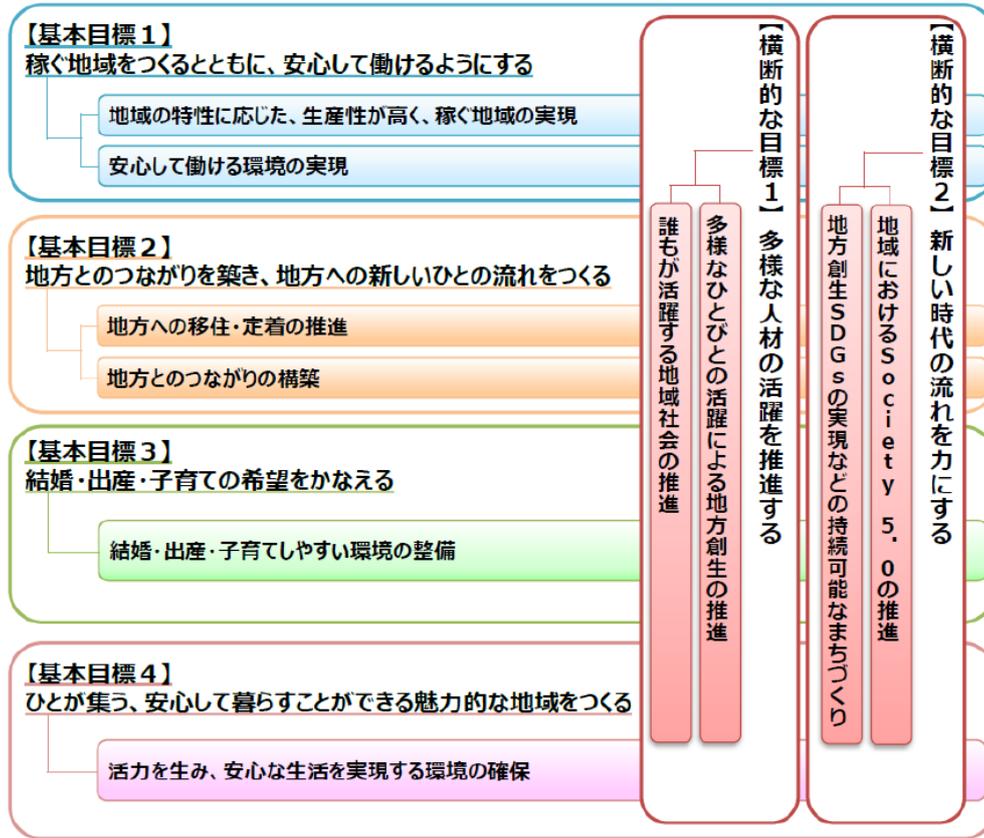
**基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する**  
～確かな暮らしを実現する安心・安全な長南づくり～

この4つの基本目標は、国や県の総合戦略の考え方に沿ったものとなっている。

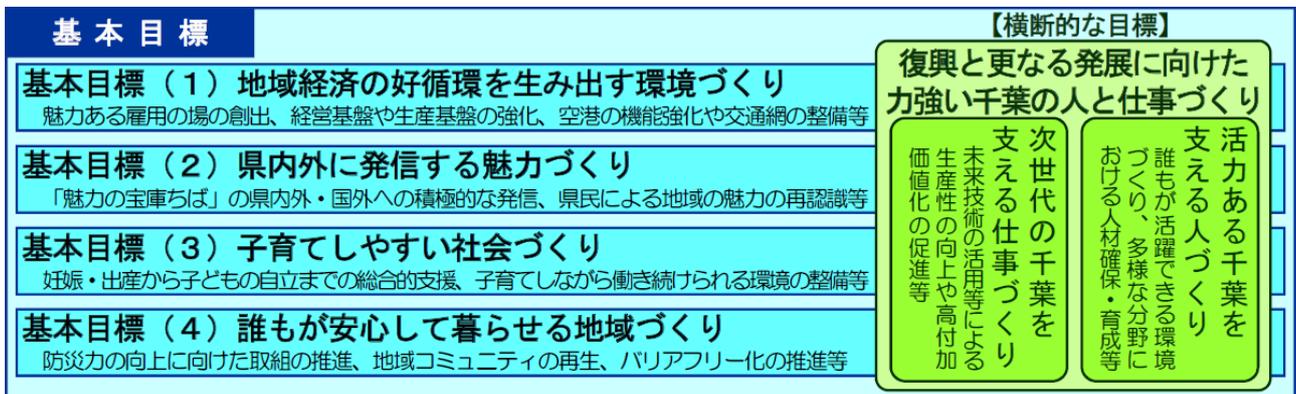
具体的な施策・事業は、本町の地域課題に沿った独自性あるものを位置付けているが、国や県の施策との整合のとやすさなどを考慮し、基本目標については国や県にあわせている。

令和元年(2019)に公表された、国や県の総合戦略の体系は、次のようになっている。

### 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系(国の体系)



### 第2期千葉県地方創生総合戦略コアプランの体系(県の体系)



いずれも第1期総合戦略の趣旨を継続し、同様の趣旨の4つの基本目標が位置付けられている。

ただし、国においてはSociety5.0 やSDGsといった新たな考え方の実現に向けた横断的な目標の設定、県においては令和元年の大規模災害を受けて「復興」に向けた横断的な目標の設定が、新たに行われている。

本町の第2期総合戦略においては、施策・事業については独自のものを展開することとするが、基本目標については、第1期総合戦略と同様に、国や県の総合戦略の考え方にあわせた4つの基本目標を設定するものとする。ただし、社会情勢が第1期総合戦略の6年間のうちに変化していることから、基本目標は、時代の要請や社会情勢を勘案した新たな視点を盛り込むこととする。

## 方針2 社会情勢への対応

国や県の総合戦略においては、近年の社会動向、とりわけ危機管理に関する視点が大きく盛り込まれている。

### i) 新たな日常に対応した地域経済の構築

現在、世界一律の課題となっているのが、新型コロナウイルスの蔓延に伴う、感染症克服と経済活性化の両立です。新型コロナウイルス感染症のリスクや治療法について、確立された見解がない状況下で、感染症拡大を予防しながら日常生活を維持していかなければならない。

令和2年、こうした状況を踏まえ、国は、第2期まち・ひと・しごと創生長期ビジョンを改正し、感染症克服と経済活性化の両立の観点を盛り込んでいる。

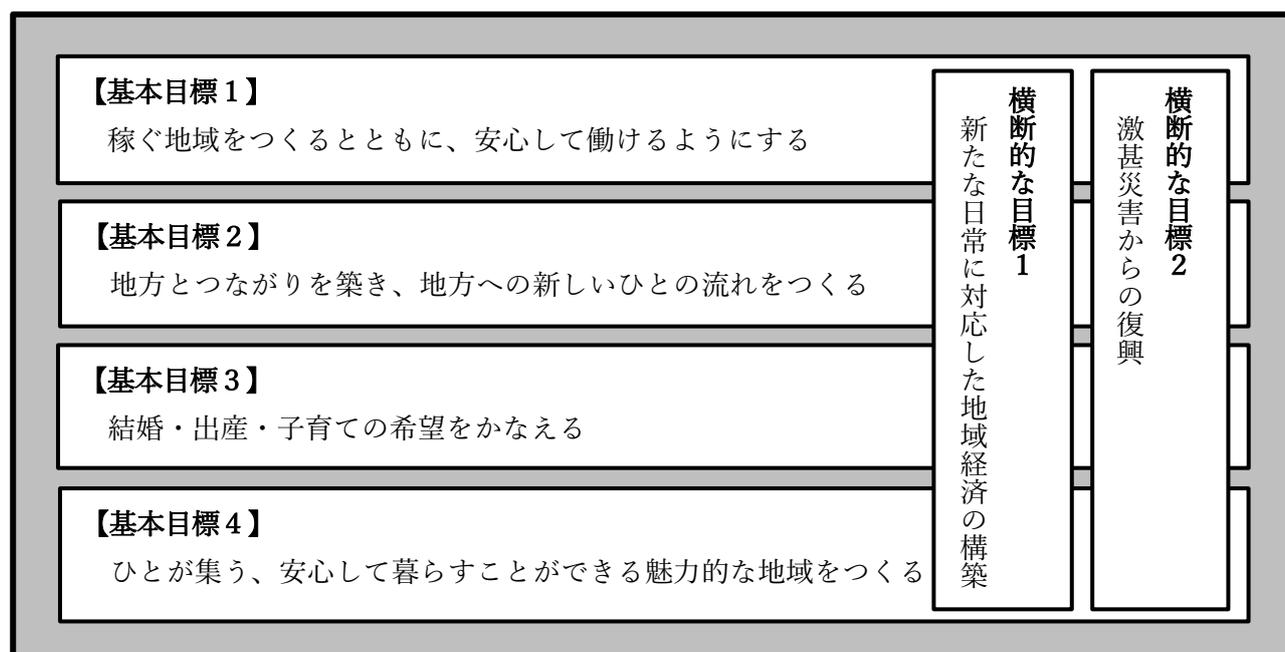
7月27日現在、本町住民の新型コロナウイルス感染状況1名となっているが、わが国全体の地域間移動の自粛の影響により、地域経済への影響は大きい。

### ii) 激甚災害からの復興

県の総合戦略コアプランに、令和元年度の激甚風水害及び停電被害からの復興の視点が盛り込まれている。この災害においては、本町も大きな被害を受けており、危機管理体制や情報システムについて、課題を残すものとなった。

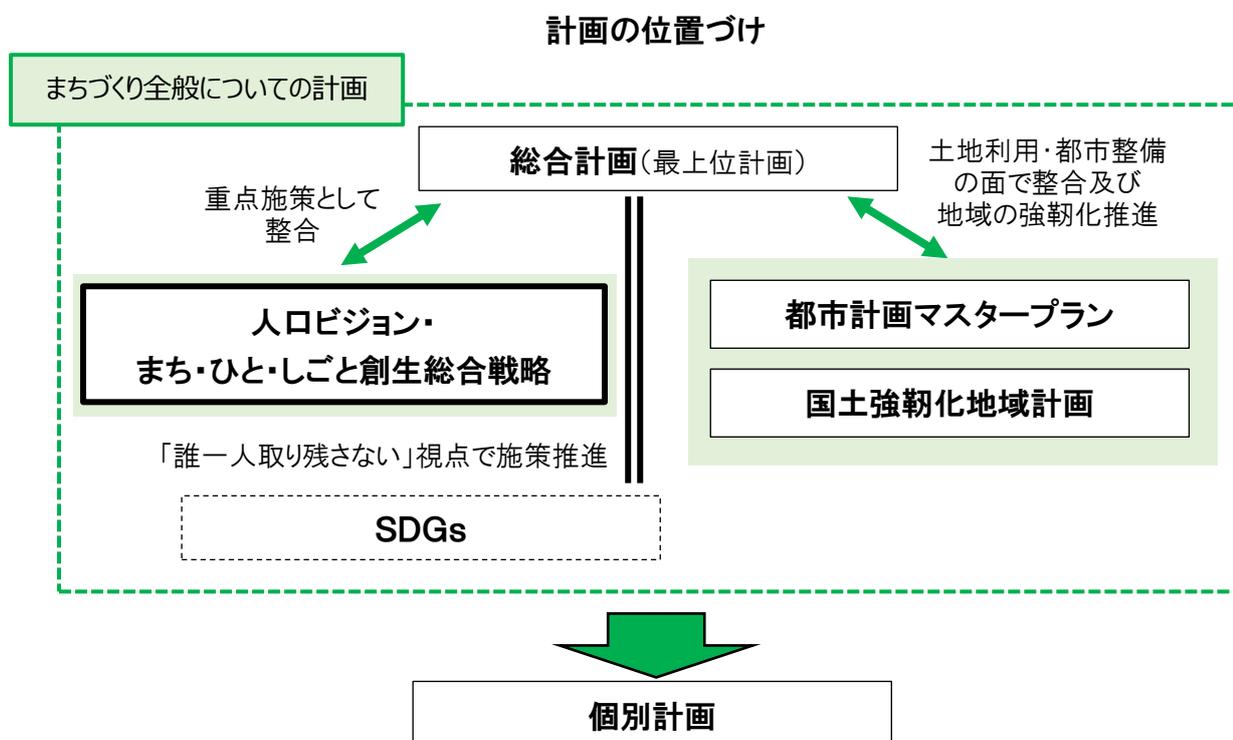
近年の地球環境変動の状況から考え、再び激甚災害が本町を襲うことは十分考えられる。したがって、本町においても、復興の観点とともに、災害に強い安心・安全なまちづくりは発展の前提として考えなければならない。

#### 【第2期長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略イメージ】



### 方針3 総合計画との関係 ～重点施策として整合～

まち・ひと・しごと創生総合戦略は、本町のすべての施策分野から、人口減少対策や地域活性化につながるものを出して構成するものである。まちづくり全般についての計画はいくつかあるが、本町においては、総合計画が最上位であり、まち・ひと・しごと創生総合戦略はその重点施策であると位置付ける。



したがって、第2期総合戦略の内容は、原則的には総合計画に記載されるものとする。ただし、総合計画には基本目標など概要の掲載にとどめ、具体的な施策や事業内容は総合戦略のほうに詳細に記載する。

### 方針4 効率的な戦略の推進 ～KPIの設定変更～

まち・ひと・しごと創生総合戦略は、実効性のある成果重視の計画として、数値目標及びKPIの設定をすることとされている。この考えに沿い、第1期総合戦略においては、ひとつひとつの事業に対しKPIが設定されていた。

しかしながら、進捗管理をする中で、多くの指標設定をしたことが各課への事務負担へとつながっており、また、事業とKPIの因果関係も不明瞭であるなど、数々の課題がある。

第2期総合戦略では、KPIはひとつひとつの事業ではなく、施策に対して設定するものとし、より効率的な施策推進を図れるようにする。

## まとめ

### 方針1 施策の体系 ～4つの基本目標を継承～

⇒第1期総合戦略と同じ体系とするが、最新の施策動向や地域の変化を盛り込むなど、文言は変更する

### 方針2 社会情勢への対応

⇒新型コロナウイルスや激甚災害に関する施策を社会情勢への対応として位置付ける

### 方針3 総合計画との関係 ～重点施策として整合～

⇒総合戦略の内容は、基本的には総合計画に記載する。ただし、総合計画には基本目標などの概要の記載のみとし、詳細な施策・事業は総合戦略に記載する

### 方針4 効率的な戦略の推進 ～KPIの設定変更～

⇒進捗管理を効率化するため、第2期総合戦略においては、KPIはひとつひとつの事業ではなく、施策に対して設定する